

4月初め 何をしたらいいのか？ の 進行台本

ーエビデンスのある「黄金の三日間」
TOSS教師の進行台本ー

◆学級経営編

小学校 クラスの「仕組み」の作り方
小学校 クラスの「ルール」の作り方
中学校 高学年～中学生の心をつかむ
「出会いの日」の進行台本

◆授業準備編

国語 <授業びらき進行台本>
算数 <授業びらき進行台本>
社会 <1年間の進行台本>
理科 <1年間の進行台本>
体育 <1年間の進行台本>
外国語 <1年間の進行台本>
道徳 <1年間の進行台本>



イラスト：渡邊瑞穂

1 子供たちとの出会いが目につくようにイメージする

子供たちと出会う四月。その最初の三日間が大切です。

- 1 いつ、誰が、何をするのか。
- 2 その際のポイントは何か。

こうした点を押さえておかなければ、瞬く間に教室は崩れ始めます。

当然、ノートを作り、具体的なプランを書き込み、念入りに準備をしなければなりません。

TOSSの向山代表は、かつて、雑誌誌面上に自身の黄金の三日間を描写しました。

初めて読んだ私は衝撃を受けました。

- ① 具体的で
- ② 描写的で
- ③ 目につくように
- ④ まさに、そのまま実施すればいいようなイメージ

授業準備編

授業準備編のポイントは次の二つです。

- (1) 子供たちの心をわしづかみにする楽しい授業
- (2) 年間を通して安定させる学習システム

「今度の先生の授業は面白い！」
「分かりやすい！」

出会いの授業から子供たちを熱中させるには、どんな授業をどんなふうに展開すればいいのでしょうか。

また、国語には国語の、算数には算数の、学習システムが存在します。

年間を通して扱うパーツである、ノートの書かせ方、板書をどうするのか……。

大切なことを網羅した保存版特集です。
(本誌編集長 谷和樹)

だったからです。
ここまで具体的・描写的に伝えられるのかと、それまでの概念を覆されたことを覚えています。

2 映画やテレビの進行台本のように

今月号の特集では、次の二点をキーワードにしました。

- 一、進行台本
- 二、エビデンス

「進行台本」ですから、できるだけ「実施時間順に」書いていただきました。
「エビデンス」*ですから、実際に教室で実施し、効果があった方法を紹介していただきました。

学級経営編

学級経営編のポイントは次の二つです。

- 「仕組み」と「ルール」

4月初め何をしたらいいのか？ とっておきの進行台本
ーエビデンスのある「黄金の三日間」TOSS教師の進行台本ー

クラスの「仕組み」を安定させるための「係」と「当番」をどうスタートさせるのでしょうか。
一年間を通して、安定して学級づくりが進んでいくためには、どのような点に気を付けるのでしょうか。
また、クラスの「ルール」をどのように確立すればいいのでしょうか。
「命にかかわることは許さない」といった極めて重要な方針から、「忘れ物をしたときはどうするのか」といったささいな約束まで、考えなければならぬことはたくさんあります。
こうしたことは、学年によっても違ってくるでしょう。
小学校高学年や中学生の心をつかむために、力のある先生はどのように初日をスタートさせているのでしょうか。
子供たちの前でどのような立ち居振る舞いを見せ、どのような作業を指示し、どのような言葉を語るのでしょいか。
実力派の先生方に、できるだけ詳しく書いていただきました。

*「エビデンス」という用語は通常、実験的にデータを積み、統計的に処理して有意性を証明することを指すが、ここではそうした厳密な意味ではなく、教室で効果があると実感されたちよつとしたケーススタディというニュアンスで使っている。

「係活動」と「当番活動」は このようにスタートさせる

ノートを一冊用意し、一週間分の生活を具体的に
書いていくことが大切である。そこから、
クラスに必要な仕組み・約束が見えてくる。

山口県下関市立植崎小学校
かわ た たか ふみ
河田 孝文

1 学校生活 一週間分をイメージする

学級の仕組み作りは、次のイメージで
する。

教師が一週間休んでも、子供たち
が快適な学校生活を送っている。

向山洋一氏が示した有名な「学級を組
織するときの目安」となるイメージである。

「黄金の三日間ノート」を一冊用意する。
自分の学校の月曜日から金曜日まで、
登校してから帰るまでをイメージし、「何
が必要か」をノートにつづる。

それらは、学校によって違いがある。
一週間分の活動、仕事、約束をざっと
書き終えたら、次の分類をする。

- A どの学校でも共通すること
- B その学校独自のこと

「どの学校でも共通すること」は、T
OSSランド、T OSS 関連書籍にシス
テム作りの資料が豊富にある。

それらをトレースすればよい。
項目ごとに一ページずつ用意し、そこ

に、参考資料を転写する。または、コピー
を貼り付ける。私は、手書きで資料を丸
写しする。その方が頭に入るからだ。ま
た、写す過程で、学級の様々な場面が浮
かんてくる。

次に、「その学校独自のこと」。

これは、学校ごとに内容が異なってく
る。実情にに応じて、自分自身で作って
いかなければならない。

例えば、朝の始業場面。

私の学校は、八時十分にチャイムが鳴
り、全校で「今月の歌」を立てて歌う。
自分のクラスの自分の席で。

歌が終わったら、全員で「今月の生活
目標」を音読する。

そして、健康観察だ。

この場面をイメージすると、「チャイ
ムが鳴ったら、子供たちが自分の席の前
に立っている」状態が浮かんでくる。こ
の状態にするには、どんな約束をし、ど
んな行動様式をとるべきかを考えなけれ
ばならない。「自分の席の前に立つ」たっ
たこれだけのことに、幾つかの仕組み・
約束が必要となるのだ。

「適当でいい」という意見もある。

場合によっては、私も賛同する。

しかし、例えば、「チャイムが鳴ったら、
自分の席の前に立つ」ということを「適
当でいい」と考える教師のクラスは、ど
うなるか。「チャイムが鳴っても、教室
に帰って来ない子がいる」クラスとなる
のである。このようなクラスは、様々な
場面で「適当さ」が発揮される。やがて、
荒れた学級となる。

2 学級の組織作り

学級を集団として機能させるためのシ
ステムが必要である。日々の学級生活が
支障なく過ごせるようなシステムを作ら
なければならない。担任が一週間いなく
ても、支障なく学校生活を送れるシステ
ムである。

朝、登校してから、「さよなら」をし
て帰るまでの仕事が見えてくる。

(1) 一人一当番システム

登校してから帰るまでをイメージして、
このような細々とした仕事を洗い出す。

そして、それを全員に割り振る。
一人一役で、どれかの仕事を担当させ
るのである。例えば、次のような仕事。

黒板消し①②③④⑤⑥／窓開け／窓閉め
／電気のつけ消し／朝学／帰りのカーテ
ン開け／鉛筆削りチェック／給食挨拶／
学級文庫整理／ロッカーの整理確認／花
の水替え／机の整理整頓チェック／配り
これらを全員に割り振るわけである。

(2) 一人一当番のチェックシステム

担当になった以上は、責任をもってや
らせなければならない。仕事をしたかど
うか、その仕事の担当者は誰かがすぐに
分かるチェックシステムが必要である。
私は、一人に一枚ずつ札を作り、教室に
掲示している。表には、仕事と担当者の
名前を、裏には「仕事をしました」とい
う言葉。

両端に輪ゴムを付け、画びようで固定
する。

仕事を終えた子は、その札をくるっと
裏返す。仕事が完了したかどうか一目で
分かるように、表は黄色、裏は緑で色分
けしている。こうしておけば、誰がやっ

ているのかいないのか、担当者は誰か、
すぐに分かる。

(3) 日直システム

一人一当番は、「学級生活で誰かがや
らなければならない仕事」という視点で
設置されている。その日の帰りには、全
ての仕事が完了していなければならない。
しかし、やらない子が出てくる。それ
をチェックし、させるシステムが必要で
ある。その役を日直に負わせる。日直は
一日一人の輪番制である。

日直の仕事に当番チェックを組み込む。
日直は、当番の札を見て、黄色のままの
仕事は全てやらなければならない。こ
うしておくと、どうなるか。

帰りの挨拶の後で日直が言うように
なる。「当番、仕事して帰ってよ!」

当番の仕事を行行するのは、日直に
とっては負担である。代行させられる前
に、担当者きちんとさせるようになる。
日直は、全ての仕事を終えなければ帰れ
ないから必死である。

日直は、任務完了の日誌を担当に提出
して帰ることになる。

「計画的に」「毎日褒めて」 徹底する

「時系列に、クラスのルールを作っていく」。そして、「優先順位が高いものから指導をするが、楽しいことも間に挟む」が大きなポイントである。

大阪府大阪市立みどり小学校
やま もと はる や
山本 東矢

1 「黄金の三日間」 完全マニュアル」を使用

私は「黄金の三日間完全マニュアル」を自作している。こういうものを学校に合わせて作成し、基本そのとおりに指導をすれば漏れがない。(子供が激しく荒れている場合は、対応が変わる。大事なことをだけを入れる)一日目の三時間目を下に載せる。黄金の三日間は、何より「学校は楽しい。みんなと会えてうれし。一年間楽しくしよう」というメッセージを伝えることが大事である。しかし、ルール指導も極めて大事だ。だから、両方の指導が入るようにする。間違ってもルールの指導ばかりしてはいけない。子供がげんりとする。

マニュアルは「活動→ただ聞くだけのこと→活動」というように作っている。ご覧いただければと思う。

2 一年間の基本方針の徹底

私の一年間の基本方針は以下だ。

3時間目

①手紙を配る。(集団活動で、順によりせる。)

②エジソンの話(紙球をもっていき、三回以上失敗をして、成功をした。たくさんのお話を聞いてもらってあげて努力を続けるのが大事なんです。)

③叱る三原則

「先生は基本的に叱らずにしたいですが、どうしても思い切り、きつく叱らなければいけない場合があります。みんなを守るためにも、威嚇してやるためにもです。」

一、命にかかわること

二、いじめや差別

三、安全を脅かす行為のため、一、二回叱るのを認める。

四、ほんのちょっとでもいじめたことがある人は、次も厳しく叱る(時と場合による)

三、何回言っても直さずしない

④道徳性の確認

印刷したものを配っている。その確認

一、時間割など

二、しばらくは時間割は確認されません

三、給食の用意は早いです。(次の日、給食なら)

本当によくきたね。

うれしいの気持ちを表す

「子供たち自身で幸せをつかめる方法を知り、実行する」

自治的集団を目指す。ただ、これは具体的場面をもって、何度も何度も言わないと子供たちはできるようにならない。だから、一応子供たちに示すが、初めに徹底することはしていない。ルールについては、徹底が大事だ。

3 クラスのルールの作り方1 基本

教師がやり方を教えるのが基本である。以下のようにする。

「取りあえず、決めていきますね。何も決まらないといういろいろなことが困ります。例えば、給食当番がすぐに決まらないと困るでしょう」

「いろいろと言いたいことがあるかもしれないですが、一つ一つ詳しく決めていく時間がないので、取りあえずこれできましようね。もしどうしても変えたい場合は、一週間後に言ってください。また、一か月後に変えたいか聞きますので言ってくださいね」と言う。

4 クラスのルールの作り方2 徹底

徹底させるために必要なことが幾つかある。

一つは、「ルールが明確か」である。これは紙に書いておくといい。一人一人番ならば、上のようにする。

このように紙に書いておくのが大事だ。都度都度の説明を減らせる。

二つ目は、「何度も確認をする」ということだ。例えば、一人一当番なら、仕事をやったかどうかを毎日確

認する。一週間は絶対必要である。次のようにする。

「全員起立。一人一当番の仕事をした人は、手を挙げましょう」

「ありがとう。すばらしいね」

「今日は特に仕事がなかった人？」

「はい、座りましょう」

「まだの人？」

「では今やりましょう。頑張ってるね」

「はい、よくやったね。偉いね」

とこのようにする。最初の三日間はこれだけでいい。やった子を褒める。

三日では定着せず、忘れる子もいる。そのときは仕事であることを先生の前で五回言わせるか「すみません」と言わせるようにする。あるいは、仕事内容を紙に書かせる。

このように毎日確認して、できた日に必ず褒めるようにする。それを繰り返すと、子供はするようになる。

最初の三日間で仕組みを作り、一週間確認し続け、褒め続ける。これで子供たちは、かなりできるようになる。

朝の時間の仕事

- お休みカード記入1
- お休みカード記入2
- お休みカード記入3
- 朝、昼、夕のとびらき、あけしめ。(意をあげる。しめる。朝、その日の時間、教師側)
- 朝、夕、お礼声かけ。(名刺をつけるよう、はだすように声をかける。数を確認)
- 朝の準備、朝学習係

全員を安心させる 国語授業

4月の学級びらきの授業で、全員に成功体験をもたらすことが大切である。それは、全員を安心させることにつながる。何をすればいいのか子供がはっきりと分かる授業、それでいて、挑戦意欲をかき立てるような授業を展開することで、子供からの信頼が確実に高まる。

石川県かほく市立宇ノ気小学校
いし ぎか あきら
石坂 陽

授業準備編
国語
＜授業びらき進行台本＞

【シナリオ2】
授業のシステムを教えるのに適した教材を選ぶ

四月の子供たちはどのような心境か？もちろん、わくわくしているだろう。しかし、一方で不安に思っているはずである。「今年の先生はどんな授業をするのか？自分ではできるのか？」というように、である。

何といっても「安心」させることが大切である。「分かる・できる」授業は、子供に安心感をもたらす。

1 授業のシステムを教えること。
2 「分かる・できる」ものであること。

四月の授業びらきで大切な要素は何か？それは、次である。

【シナリオ1】
子供を安心させる要素を考える

授業のシステムを教えるのに適した教材の一つが「詩」である。短いため、音読の様々なスキルを教えることが可能である。また、読み取りの面において、ノート書き方も押さえやすい。

国語教科書の冒頭のページには、多くの場合、「詩」が掲載されている。光村図書国語教科書だと、第一ページ目に「とびらの詩」というものが掲載されている。私は毎年、「とびらの詩」で授業びらきをしている。子供に好評である。

【シナリオ3】
音読のシステムを教える

例えば、次のようなバリエーションで音読をさせる。

- (1) 追い読み
- (2) 一文（一行）交代読み
- (3) たけのこ読み
- (4) 一人読み
- (5) スピード読み

学級経営編
中学校 高学年～
中学生の心をつかむ
「出会いの日」の
進行台本

出会いの一瞬で心をつかむ

真新しい服装と清潔な身だしなみが大前提。その上で、準備が命。名前と顔を覚える。個人情報を収集する。指導計画を具体化する。語りを洗練する。出会いの一瞬で子供の心をつかむために、考え得ることは全て為して当日に臨もう。拙著『中学の学級開き 黄金のスタートを切る3日間の準備ネタ』（学芸みらい社）を参照されたい。

埼玉県熊谷市立奈良中学校
は せ がわ ひろ ゆき
長谷川 博之

1 出会いの準備はこうする

まず、A4判ノートを一冊準備する。見開きの左側に四月当初の特別日程や健康診断計画などをどんだん貼る。右側は空けておく。気付きやアイディアを書き込むためである。

次に、担任する子供たちの名前と顔を覚える。学年全員の名前と顔も可能な限り覚える。私は兄弟関係と保護者情報も暗記する。後に役立つ。

また、引き継ぎ資料は隅々まで読み、不明な点は前年度担任に直接話を聞く。中学教師ならば三月中に必ず、小学校の学年団との連絡会を実施する。個別の指導計画なども確実に引き継ぐ。中学教師は加えて、小学校の卒業アルバム及び卒業文集を入手する。文集につづられた本人の思いや保護者の願いを頭にたたき込む。これで初対面時の話題が広がる。褒める要素も山ほど見付かる。

なお、特別支援を要する児童生徒には、保護者同伴で来校を願う。確認を丁寧に行いつつ、環境に慣れさせるためである。無論、春休み中に行う。

2 出会いの朝はこう動く

教室環境の最終確認を終えたら、生徒昇降口に立つ。一人一人の名前を呼び、挨拶を交わし、軽

く会話する。声や表情、態度を褒める。持ち物まで褒める。歓迎の思いを伝える。快活に、端的に関わる。このとき、こびへつらいは禁物である。新入生全員を笑顔で迎えるのだが、中一担任は途中、教室に向かう。学年主任と副担任は最後の一人まで見届け、入学式・始業式の最終確認に向かう。担任は教室で学級集団と対面する。自己紹介や方針演説は後に行うと告げ、短時間で入学式の指導を行う。ポイントと呼名と返事である。「誰に聞かせるのか」を問えば、自然、返事は変わる。できていることを褒める形で構えを作らせる。

3 初学活はこうマネジメントする

式の後、短時間の学活がある。まずは式の態度を認め、褒める。次いで指名して式の感想を発表させる。楽しくやり取りしよう。一息ついたら場を整え、自己紹介と方針演説を行う。紹介の方法は何でもよいが、冗長なのは駄目だ。簡潔に、かつ印象に残る演出を考えたい。方針演説では「学校の目標は知徳体を鍛えることだ」と述べ、そのために手を携えての学級をつくらうと語る。一人一人と目を合わせ、信ずる所を語るのがよい。それらを学級通信で家庭にも伝えるのが肝である。翌日の予定と持ち物を丁寧に確認して解散する。

向山型算数の基本的な授業びらき

算数授業びらきの3つの内容。

授業準備編
算数
＜授業びらき進行台本＞

東京都目黒区立鷹番小学校

戸村 隆之

留意点1 褒める

とにかく褒める。「全体的にすばらしい声です」といった、全体を褒める褒め方、「○○さんの口の開け方が良い!」といった、個人を褒める褒め方を入り混ぜる。

留意点2 スピードを変える

最も盛り上がるのが、「⑤スピード読み」である。全員を起立させる。子供も教師も高速で詩を音読させる。読み終わったら座る。教師に勝てるかどうかを競う。

一回目は、教師は高速で読む。当然、勝てる子は皆無である。二回目、三回目と、教師は少しだけゆっくり読む。こうすると、勝つ子が増える。「速くなったなあ!」と褒める。

【シナリオ4】

詩を読み取らせる

光村図書四年上、国語教科書のとびらの詩「かがやき」を例に挙げる。一字読解

が適している。例えば、次の問題を出す。

- ① 題名は何ですか。
- ② 林の上でかがやいているのは何ですか。一文字で書きなさい。
- ③ 雲はどこでかがやいていますか。三文字で書きなさい。

- ④ 湖のほとりでかがやいているのは何ですか。六文字で書きなさい。
- ⑤ この詩は幾つの連からできていますか。

- ⑥ この詩は幾つの文からできていますか。

- ⑦ 山をはなれたのは、何ですか。二文字で書きなさい。

- ⑧ この詩は、朝、昼、夕方のうち、いつの詩ですか。

- ⑨ もし夜になる直前ならば、「山をはなれた」という文はどんな文になりますか。

- ⑩ この詩の作者は誰ですか。

留意点1 文字数を限定する

「○文字で書きなさい」というように、文字数を限定する。正解を言われた際、「一言一句違わず書けた」という経験が、子供の成功体験を強固にする。

留意点2 同系統の問題を二度問う

⑤の問題の答えは、「三つ」もしくは「三」である。国語は縦書きなので、漢数字で書くべきである。しかし、「3つ」「3」というように、数字で書く子が確実にいる。⑥の問題で、全員（ほぼ全員）が、漢数字で書くはずである。そのとき、「漢数字で書いた人?」「すばらしい!」と褒める。

留意点3 作者は誰かを問う

作者は、巻末のページに掲載されている。「とびら詩 羽曾部忠」と。ここを見付け、ノートに書いてきた子を褒める。途中、「答えを言いましたか?」とおおる。「駄目です!」と子供たちは言うはずだ。教室は熱中状態になる。

算数は、できる・できないの差がはっきりする教科である。

それだけに、子供たちに「できる」「楽しい」と実感させることが極めて重要である。

新年度、子供たちは期待に満ちている。最初の授業で、次のことを指導する。

- (1) 算数授業のルール
- (2) 実態調査
- (3) 楽しい算数授業

以下、授業の流れである。

(1) 算数授業のルール

算数授業の進め方、学習の決まりを具体的に指導する。

可能であれば、子供たちに分かりやすくルールを簡条書きにしたプリントを配付できるとよい。

① 算数授業の持ち物は次です。

筆記用具、教科書、ノート、「あかねこ計算スキル」、下敷き、ミニ定規（高学年であれば、三角定規、コンパス）

(2) 実態調査

子供たちの算数学力の実態を調査する。TOSsが開発している、正進社のワークテストを採用すれば、実態調査用のワークテストが付いてくるので、それを実施すればよい。採用できなければ、前学年の基本的な計算問題を二十問出題する。前学年の教科書最終単元のまとめ問題を使えばよい。

実態調査の結果は、コピーもしくはス

教科書の構造を見抜き 各資料から単元を組み立てる

資料から課題を見付け、予想し、調べ方を考え、調べ学習へ移行する。

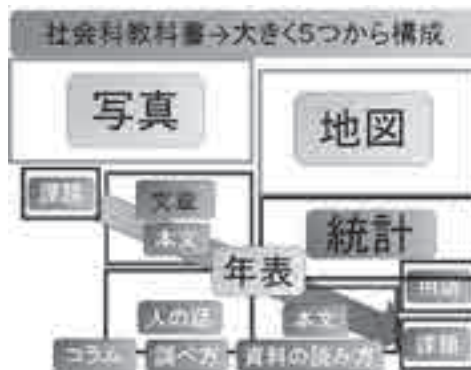
授業準備編

社会

<1年間の進行台本>

兵庫県篠山市立味間小学校

かわ はら まさ き
川原 雅樹



必ず「○○さんの話」という人の話が出てくる。理科が自然科学ならば、社会科は人文科学。人がやったことがそのまま教科内容となる。年度末など、時間がない場合は「人の話」だけでも読んでいくと、何となく内容が理解できる。

文章内容を「写真」でイメージさせ、「統計」データで証拠を示し、「地図」で場所を、「年表」で時間を示す。

文章は、課題・説明などに分かれるが

- 1 写真（イラストも含む）
- 2 統計（グラフ・表など）
- 3 文章（課題・説明・人の話、用語など）
- 4 地図
- 5 年表

教科書は大まかに五つの資料からできている。

この六点で単元は組める。

- (1) 写真を見て、分かったこと、気付いたこと、思ったことをできるだけたくさん箇条書きにしてください。(板書させ、発表させる)
- (2) おかしい意見はありませんか。

これで議論になる。分かれた意見が課題となる。「時間」(例…お客さんがたくさん来るのは午前？午後？)「方角」(例…どの方角の写真ですか？)などは新学習指導要領「社会的見方・考え方」にも合致する。

グラフの場合は次のようになる。

- (1)タイトル、年度、出典の確認→(2)縦軸・横軸の確認→(3)変化の特徴→(4)大きく変化している部分の原因を予想する(課題設定)

要は、資料から課題を見付けさせるのである。

誌面の割合が一番多いのが写真である。

- ①写真の読み取り→②課題設定→③予想
↓④調べ方を考える→⑤調べ学習（見学）
↓⑥まとめ

薄く書かれたお手本をなぞっていくながら、理想のノートの書き方を体感できるようにしている。どの子もできる教材だ。これをやらせて、「丁寧だなあ」す



キャンしてデータ化して保存しておく。この資料は、保護者との個人面談のときに使える。「前の学年の内容はこうでしたが、新しい学年になってできるようになっています」など事実を基に子供の変容を伝えられる。

ノートの書き方もここで指導しておく。

東京教育技術研究所から出ている「算数ノートスキル」を使えば、子供に成功体験をさせながら指導することができる。

「ばらしいですね」と一人一人褒めていくことが大事だ。

ノートスキルで指導する場合、ノートの書き方は次のとおりである。

1 文字はマスにそろえて大きく書く。

2 線を引くときには定規を使う。

3 授業の最初に日付、ページ数を書く。

4 問題と問題の間は、一、二行空けてゆったり書く。

5 計算や答えを間違えても、消さずに

×を付けて書き直す。

(3) 楽しい算数授業

向山洋一氏は、四年の授業びらき「大きな数」の単元で、大きな数の広がり宇宙にまで広げて算数・数学の面白さを授業している。

学年の実態に合わせて、「算数って面白い」と感じさせるような授業をしたい。

一つは、難問の授業である。TOS
メディアや書籍に収録されている「難
問」から、子供たちができそうでできな
い難易度の問題を一問出して解かせる。
教師は、答えを教えない。教えないから

子供たちは熱中する。どのような問題を選択するかは、教師の腕の見せどころだ。

二つ目は、TOS Sランドに掲載されている授業である。算数でのお薦めのコンテンツを幾つか紹介する。

- T O S S ランド No.9770248
5年算数 授業開きは向山実践
「 $4m+2$ 」で！
- T O S S ランド No.5452938
算数の授業開き 難問に挑戦！
知的に展開させる出会いの授業
- T O S S ランド No.2839876
フォフォワーズ
- T O S S ランド No.2252342
入門 向山実践の楽しい授業
- T O S S ランド No.9639084
知的な向山氏の0の語りを再現する

向山実践を学びたければ、向山氏が現役時代の授業CDは必聴である。算数授業びらきの原理原則、子供たちへの具体的な指導が学べる（向山洋一算数授業CD4年「大きな数」東京教育技術研究所）。

子供たちが自分から練習し始める各種システムの作り方

早く準備した方が得をする仕組みを作り、自主的に行動する子供たちを育てる。

授業準備編
体育
<1年間の進行台本>

群馬県邑楽町立長柄小学校

まつしま ひろあき
松島 博昭

授業準備編
理科
<1年間の進行台本>

北海道斜里町立斜里小学校

しおや なおひろ
塩谷 直大

1 授業びらきで実験の流れを教える

「いいものを持ってきました」
授業開始と同時に、そう言い、にこやかに子供たちの前に立つ。子供たちの視線が集まる中、スーツの内ポケットから、透明のビニール袋と磁石を出す。「お金だ！」身を持ち出した子供たちが口々に言う。そこで発問する。



発問 お金は磁石に付きますか。

「付く！」「付かない！」と口々に言い始める中、指示を出す。

指示 ノートに写しなさい。

黒板に貼ってあるジャンボ ホワイト・TOS S ノートに問題や実験方法などをかく。視覚的に分かりやすいので、どの子も写すことができる。理科のノート指導にも大活躍の教具だ。「偉いなあ。定規を使っている」と褒めている。



く。予想させた後、セットを配付してペアで実験させる。結果を書かせ、持ってきてさせてノートチェックをする。さらに発展問題として、千円札を予想させる。糸でつるした千円札に百円

2 観察は「ついで」の時間」も活用する

向山洋一氏は理科の観察について次のように話している。「せっかく校庭に出た朝会のように、花壇ものぞくのです。」(本誌No76一九九五年三月号)植物や昆虫の観察は、理科の時間だけではなく、外に行く活動のついでに実施すると回数を増やせる。私は虫眼鏡などと一緒に、TOS S メモを持たせている。観察したメモはノートに蓄積させて、後で時系列に並べ替えさせると視覚的に分かりやすい。



1 四月に教える「集合」と「整列」

体育の最初の授業では、体育の授業での「集合」と「整列」の違いを教える。

「集合」は、背の順番に関係なく集まる。

「整列」は、背の順で並ぶ。

最初に整列の順番を確認する。その場に座らせて目をつぶらせ、教師はその場から移動する。そして、「整列」と声を掛ける。児童は教師を見付け、教師の前まで走って整列する。このときに、走って集合している子を褒める。数回繰り返せば、「整列」の順番を覚える。「整列」したらおしゃべりせずに待つことも教える。「今、おしゃべりしていない人。合格」と評価し、整列のときにはおしゃべりはしないことを教える。「集合」も同様に行う。移動の仕方を「スキップ」「けんけん」「サイドステップ」など変化を付けると、飽きさせずに「集合」「整列」練習ができる。四月の最初にゲーム感覚でルールを教えるからこそ、一年間「集合」「整列」の一言で子供が動くようになる。

2 運動場に来たら何をするか明確にする

準備・準備運動のポイントは、

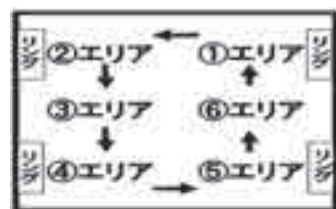
早く準備した方が得をする仕組みを作る。

早く来た子たちからどんどん練習できる仕組みにする。全員そろわうのを待っていると、子供たちはゆっくり運動場に来るようになる。来た子からどんどん練習させる。

例(1) サッカー。ペアでドリブルする。校庭を半周ずつドリブルしながらゴール場所に移動する。ペアで笛が鳴るまでに何周できるか数える。

例(2) バスケットボール。各自ボールを持って、各エリアで左記の練習を始める。ゴールしたら次のエリアに進む。

- ① ドリブルシュート
 - ② フリースロー
 - ③ ジグザグドリブル
 - ④ ドリブルシュート
 - ⑤ フリースロー
 - ⑥ ジグザグドリブル
- (メニューは実態で変える)



単元に応じてやるべきことを教える。早く準備して練習している子を取り上げ、褒めることにより、進んで準備・練習する子が増えていく。

道徳教科書の分析法と、 評価の書き方のコツ

国の指針に沿って書く。
そして、保護者には具体的に伝える。

山口県周南市立鹿野小学校
おく だ よし ふみ
奥田 巖文

授業準備編
道徳
<1年間の進行台本>



では、ノートの記述をもとに、どのような評価
をしていけばよいのか。
平成二十八年七月二十二日の「道徳教育に係る

継続的に教師が記録していくのは大きな労力が
必要となる。そこで、子供の記録を利用する。
そのためには、ノートに学習したことを書かせ
ておくことをお勧めする。ノートに考えを書かせ
ておけば、そのまま成長の記録となる。

「児童の学習状況や道徳性に係る成長の様子
を継続的に把握し、指導に生かすよう努める
必要がある」

道徳の評価について、学習指導要領には次のよ
うな記述がある。

この記述は、評価の視点であるとともに、転用
すれば、そのまま評価の文章となる。
ただし通知表の内容としては、学習指導要領の
言うとおり、大きくりなまとまりであるので伝わ
りにくい。「特に……」と付け加えて、具体的に
伝える必要がある。

「自分と違う意見を理解しようとしている、
複数の道徳的価値の対立する場面を多面的・
多角的に考えようとしている等」
「読み物教材の登場人物を自分に置き換えて
具体的に理解しようとしている、道徳的価値
を実現することの難しさを自分事として捉え
考えようとしている等」
(一部要約)

とあるので、ノート一ページだけを読んで評価す
ることはできない。
同報告に、次のような記述もある。

「個々の内容項目ごとではなく、大きくりな
まとまりを踏まえた評価とする」

評価等の在り方に関する専門家会議」の報告に、

文字が目に入ってくる！ 輪郭英単語カード

クイズのように楽しく！ 単語（文字）に慣れ親しませる。

授業準備編
外国語
<1年間の進行台本>

東京都公立小学校
たけ うち よし か
竹内 淑香

音声で十分に慣れ親しませ「書く」につなげる

新学習指導要領では、小学校における文字の指
導について、中学年では「文字の読み方が発音さ
れるのを聞いた際に、どの文字であるかが分かる
ようにする」こと、高学年では「音声で十分に慣
れ親しんだ上で、語句や表現について、書く、指
導をしていくこと」が明記されている。お薦めの
教材は、これである。

「輪郭英単語カード」



表 裏

〈特徴〉

- ①単語の周りに、その単語に対応した絵が「輪郭線」のみで描かれている。
 - ②輪郭線は意味のある色の線で薄く描かれている。
 - ③カードの表と裏の単語が同じ大きさである。
- イラストではなく単語（文字）が主役の教材であり、単語そのものに目が向くよう工夫されている。

〈ユースウェア〉 ※教材にリーフレット付属

文字パターンの似ていないカード三枚を選ぶ。

(例) egg milk bread

(1)単語練習 (二回→一回→0回) ……通常の新出

◆このページの教材は東京教育技術研究所でお申し込みいただけます。

単語練習の要領で行う。

(2)回転 (絵→文字→絵→文字) ……カードを表・裏の順にくるっと回転し、発音させる。

「egg (絵) → egg (字) → egg (絵) → egg (字)」

(3)回転 (クイズ・文字→絵) ……文字だけを見せ、何かを答えさせる。

「egg (文字) → egg (絵)」

中学年から、この輪郭英単語カードを用い、読み方に十分に慣れ親しませておく。単語が読めるようになってきたら次のステップへ。以下のように尋ねる。

「How do you spell "egg"?」

子供たちは、今、目に焼き付けた単語のスペルを一生懸命に思い出して言う。「Really?」などと言いながら、答えを見せる。アルファベットを含めてリピートさせる。

教師 : e · g · g · egg
児童 : e · g · g · egg

リズムに乗せてテンポ良くリピートさせるのがポイントだ。クイズのように楽しく、文字の読み方はもちろん、スペルにも慣れ親しませることができる。